

杉並区自転車活用推進計画に基づく令和 6 年度の主な取組等

■自転車ネットワーク路線の再構築

これまでは、駅周辺を中心に自転車ナビマークや自転車ナビラインを整備してきました。整備に伴い、車道の左側通行を促す効果が表れていること及び現行の対象路線は令和 8 年度内に整備が完了する見込みであることから、区内全域を対象としてナビマーク等を整備する「自転車ネットワーク路線の再構築」を行いました。追加した路線は、令和 8 年度から整備を開始する予定です。

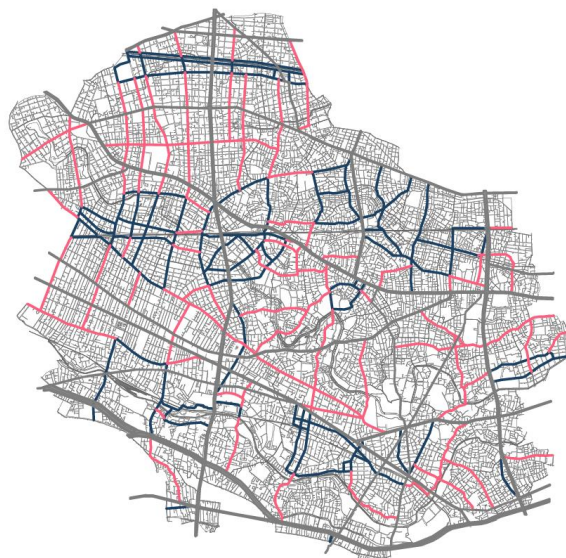
【現行路線】



区道延長：53.7km

■ 整備済：40.7km※ R 6 年度末
■ 未整備：13.0km

【新規路線】



区道延長：55.0km（追加分）

総延長（現行含む）：108.7km

■ 新規ネットワーク路線
■ 現行ネットワーク路線
■ 国道・都道

【参考】自転車ナビマーク

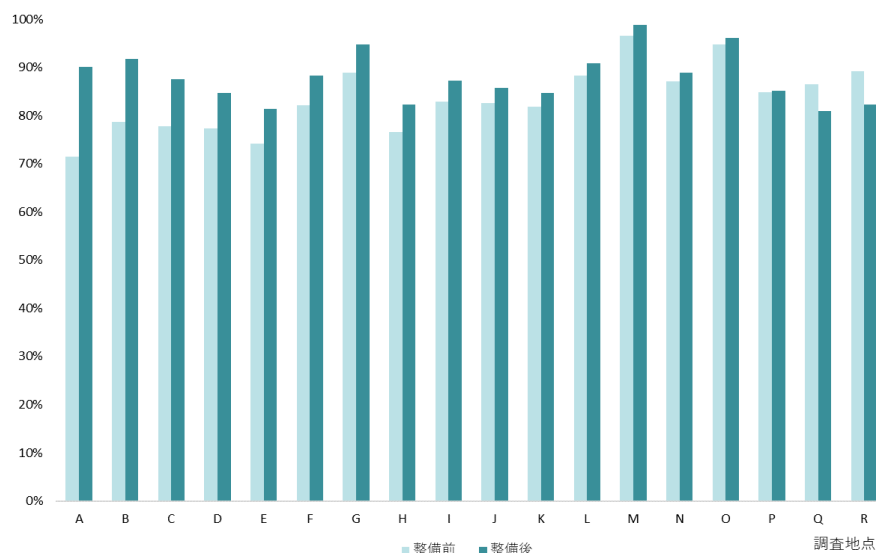


自転車ナビライン



《順走率の調査結果》

自転車ナビマーク・自転車ナビラインの整備後、約 9 割の調査地点で自転車の順走率※が上昇



※自転車の通行台数のうち、車道の左側を通行した台数の割合

区内 18 地点 (A~R) の車道において、平日 12 時間 (7 時~19 時) の順走率を調査 (H29~R 6)

■区職員による自転車の業務利用の拡大

民間事業者との協働により、令和6年6月から令和7年3月末まで、職員が業務でカーゴバイク（荷台付き三輪電動アシスト自転車）を使用し、その有効性や運用上の課題を検証する実証実験を行いました。実証実験の結果、車両（試作車）や運用上の課題がある一方で、一定の効果が確認できたため、今後、協働事業者の協力を得ながら、本格導入に向けた検討を進めていきます。



実利用人数：134人

総走行距離：1,463km

【主な意見】

- ・三輪で安定感があって安心
- ・二輪では運び難い荷物の運搬に便利
- ・後輪が歩行者等に接触しないか不安
- ・アシスト機能が弱い、車体が重い
- ・押し歩き時、後輪が足に接触する
- ・駐車時に小回りが利きにくい

【運搬した物】ネットワーク機器、ケーブル、工具セット、書類、電子機器、計測・調査用具
飲食物、衣類、安全用品 等

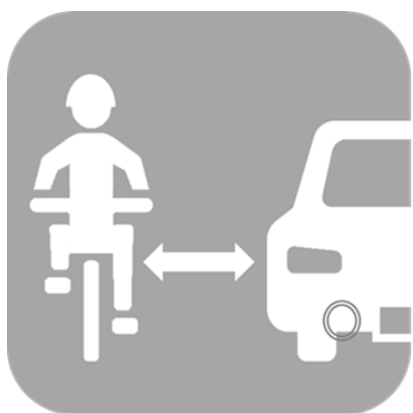
■区内のシェアサイクルポートの現状

(箇所)

	総数	公有地	民有地
R5.2	167	29	138
R6.6	584	51	533
R6.12	703	54	649

■区独自のドライバー向け路面標示の実証実験

車の運転者に対して、自転車の側方を進行する際に自転車との十分な間隔の確保や減速を促すために、区道上に区独自の路面標示を設置し、その効果を検証する実証実験を実施する予定です。路面標示を設置する近隣のカーブミラー等にセンサー機器を設置し、車等の通行状況を記録して効果を検証します。(令和7年10月頃実施予定)



<路面標示のイメージ>